

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらめき古堅南		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 3日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026 2月 3日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者同伴で療育に参加してもらっています。事業所で行われている「ことば音楽療法」を保護者様に見ていただくことで、事業所訓練だけでなく、ご家庭でも生活の中で訓練できる瞬間を見つけた時に実践してもらい、発語訓練の量が増え、結果が早く出ることを期待しています。	発語の成長を促すためには、まず体づくりが土台が先だと言われていて、体幹を鍛えること、ボディイメージを高めること、体使いの真似が出来ることなど、土台となる体作りトレーニング遊びを、自由遊びの中で進めるようにしています。	ただ遊びを提供しているのではなく、遊び一つ一つの狙いがなんであるのかを、保護者様に丁寧に伝えし、同伴して訓練を受けている充実感を持っていただけるよう取り組んでいきます。 高めること、体使いの真似が出来ることなど、土台となる体づくりトレーニング遊びを重要ととらえ展開していきます。
2	「ことば音楽療法」は一般の言語訓練とはアプローチの異なる音楽療法を通してのことばの訓練です。全国各地で発語成長の実践結果報告が出されている中、沖縄での事例はまだ少ないので、とにかく「やってみる!」「続けてみる!」という期待を込めて支援させていただいています。	母音の発語」を土台に、二音節、多音節、二語文、多語文の発語訓練へと展開しています。その他、文字、数字などお子様の興味と成長に合わせて進めています。	見通しを立てて次に何をやるのかを分かりやすくするようにしています。(事前声掛けや視覚的アプローチ)また逆に、事前予告なし、急な予定変更に対応していく練習を進めるようにしており、お子様一人ひとりの成長に合わせて少しずつ支援内容に変化を盛り込むようにしています。
3	保護者様同伴の療育なので、保護者同士が交流する機会にもなっています。進級に向けた情報であったり、先輩ママさんからのアドバイスなどが自然に行き交っている時間です。	交流が得意な方苦手な方、必要な方とそうでない方、様々ですので、お互いにご無理の無いよう注意をしながら時間配分させていただいています。支援者にご相談がある場合も出来るだけお応えできるよう務めております。	曜日ごとに交流する保護者様が決まっているので、全体での保護者会を定期的に行っていくよう計画しています。また、小学校就学に向けてどのような準備が必要か、放デイの保護者様とも情報交換できる交流の機会をもうけています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多機能型事業所なので、祝日や長期休みは朝から多学年が集まります。児童数が多い中保護者様も来所していただくので混雑しています。放課後デイサービスの様子を知っていただき、近い将来通わせるときのイメージ作りになるかもしれませんが、部屋を分けて「ことば音楽療法」がスムーズに進められる環境づくり、人員配置をする必要を感じています。	平日は9時半からの受け入れをしていますが、祝日は放課後デイ児童の送迎に職員が全員で払うため、ことば音楽療法のご家族には時間を変更して来所していただいています。	祝日の職員人員を増やして、平日と同じ時間帯に療育を行う。もしくは、祝日の開所時間を10時開始に完全固定にし、放課後デイとの交流という内容に変更していくなど、保護者様にご説明ご理解をいただく必要があります。
2	土曜日の開所が出来ていません。	土曜日にことば音楽療法を開所するニーズがどのくらいあるかを調査する必要性を感じています。	保護者様から土曜日の開所要望は特にありませんが、平日幼稚園や保育園と併用する方は学校が休みの土曜日に来所する方が保護者様にとって都合が良いのかもしれないと考えています。現実問題、人員不足でもあるので土曜日開所は検討事項ではあります。
3	ことば音楽療法士が一名しかいない為、指導者が不在の時の支援内容が不安定になってしまっています。	ことば音楽療法とは別の視点からのアプローチを他職員にリードしてもらっていますが、個別支援計画から大幅にずれてしまうプログラムとならないよう、不在時の支援内容について計画的に進行していく必要があります。	不在時の支援内容を計画的に作成し、支援中には内容の説明(きっかけ、ねらい、様子等)を丁寧に言い、質問等ある場合は答えられるように備えています。